

## 【水の里の旅コンテスト2017 応募企画】

### 【一般部門】

マイクリング・プロジェクト

日本遺産・琵琶湖と水辺景観を巡るサイクルアドベンチャー「ビワイチ」。

水と祈り、暮らし、食の文化に触れる旅

観光地域：滋賀県全域、米原市

【日程】	2泊3日		
【実施時期】	春・夏・秋		
【催行人員】	2名（最少催行人員：1名）	【お勧めする旅行者層】	定年を迎えた夫婦、学生仲間、訪日外国人観光客、親子など。
【旅行代金】	30,000円～50,000円 2泊3日（大人1名）	【内 訳】	
		レンタサイクル 土日祝プラン 5,500円（1日）、7,500円（2日）、9,500円（3日） 宿泊 2泊3日 30,000円～	
【企画趣旨（伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント）】			
<p>日本最大の湖・琵琶湖。その水辺には、日本遺産に認定されたスポットが多数点在し、素晴らしい景観と、水と祈り、暮らし、食の文化が息づいている。</p> <p>びわ湖一周サイクリング（ビワイチ）は、そのほとんどが琵琶湖を1周することだけを目的とするケースが多いが、1泊2日、2泊3日で、自分のペースで琵琶湖の景色や湖国ならではの食（グルメ）を楽しみ、水辺の遺産のスポットを巡ることにより、琵琶湖の持つ価値や、水資源の大切さ、琵琶湖とともに歩んできた人々の暮らしを体感することができる。昨年度、滋賀県の玄関口である米原駅に全国初となる新幹線駅直結の米原駅サイクルステーションが誕生し、県内には140を超えるサイクルサポートステーションも設置され、ビワイチをはじめ、近江鉄道サイクルトレインによる自転車旅など、滋賀県を巡るサイクルツーリズムの仕組みが確立した。</p> <p>米原市では、琵琶湖の水の貴重な供給源である伊吹山や霊山、美しい清流など、「びわ湖の素・米原」として、水をテーマにしたシティープロモーションを展開しており、そんな米原だからこそ、水源の里（上流）と下流のつながりを体感し、水資源の大切さをおのずと認識することができる。（シティーセールス動画→<a href="https://youtu.be/GV128uwD03A">https://youtu.be/GV128uwD03A</a>）</p> <p>米原駅東口にあるサイクルステーションは、旧中山道から米原道経由でつながる旧米原湊跡地でもあることから、かつての湊から琵琶湖へ船出したように、時を超え、「スポーツ自転車」による琵琶湖の水辺を旅する「新しい旅」を提案する。</p> <p>・ツアーとして案内を実施するのではなく、地図を片手に自分の思いのまま走行し、参加者同士や地域の人たちとの交流を深めながら、日本遺産である琵琶湖の水辺の魅力を体感することができる。旅行者には、あらかじめ日本遺産のパンフレット、マップなどを配布する。</p>			
【安全確保のための配慮】		【旅行者の満足感を高めるための工夫、快い旅行にするための配慮】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぐるっと琵琶湖サイクリングマップの配布。</li> <li>・走行が困難となった場合は、県内乗り捨てポイントを活用。</li> <li>・エスケープルートとして、琵琶湖沿線の鉄道を活用できる。</li> <li>・県内140か所のビワイチサポートステーション。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>日本遺産のパンフレットの配布。</li> <li>ぐるっとびわ湖サイクリングマップの配布。</li> <li>日本遺産に係るウェブサイト（ビューロー）の閲覧。 <a href="http://ja.biwako-visitors.jp/japan-heritage/">http://ja.biwako-visitors.jp/japan-heritage/</a></li> </ul>	
【企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】	【企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】
① NPO法人五環生活 <a href="http://biwaichi-cycling.com/">http://biwaichi-cycling.com/</a>	レンタサイクル。 走行指導など。	⑤イー・エージェンシー	インバウンドの誘客
② 滋賀県観光交流局ビワイチ推進室	資料提供、情報提供。	⑥粋世（大津市）	宿泊（インバウンド）
③（公社）びわこビジターズビューロー	日本遺産の発信、広報。	⑦日本遺産米原地域協議会	日本遺産の情報提供
④ 輪の国びわ湖推進協議会	ビワイチの情報提供	⑧	
【特記事項】	ツアーではなく、個人や仲間、団体で巡ってもらうことにより、旅の仲間や地域と人々との交流を深めながら、日本最大の湖・琵琶湖の持つ価値や、水資源の大切さ、日本遺産を通じた水辺の暮らしや歴史・文化に触れることができる。		
【催行実績】	無し		



【 行 程 表 】	
1日目	米原駅サイクルステーション(旧・米原湊跡地) 朝妻湊、長浜城、湖北みずどりステーション(休憩)、西野水道(旧トンネルの探索)、北湖絶景ポイント(竹生島の眺め)、あぢかまの里(昼食) 海津・西浜・知内の水辺景観、針江・霜降の水辺景観、大溝の水辺景観など 宿泊(憩いの里湖西など:高島市)
2日目	白髭神社(朝日を眺める)、比良山系(びわ湖レイクサイド自転車道) 道の駅琵琶湖大橋米プラザ(昼食) 日吉大社、比叡山延暦寺、近江神宮、園城寺(三井寺)など 宿泊(ピアザ淡海、粋世など:大津市)
3日目	瀬田の唐橋、石山寺、琵琶湖博物館、サイクリストの聖地、沖島、長命寺、伊崎寺、国民休暇村(昼食:琵琶湖八珍) 伊庭の水辺景観、(または、近江八幡の水郷、五個荘金堂)、彦根城、玄宮楽々園 琵琶湖の夕陽(結びの岩など)、入江干拓、米原駅サイクルステーション

【 主な観光ポイント (観光地・観光箇所の歴史、由来、土産品など) 】

【 ポイント1 】	【 ポイント2 】	【 ポイント3 】
		 <p>(写真提供: NPO 法人五環生活)</p>
<p><b>【米原駅サイクルステーション】(米原市)</b> 全国初新幹線駅直結のレンタサイクルの拠点。 この場所は、江戸時代、中山道から米原道を経て京へ物資を運んでいた米原湊跡地でもあり、ビワイチのほか近江鉄道サイクルトレインで県内を巡ることができる。西口には、ビワイチの拠点となるカフェもあり、スタート前に心の準備をすることができる。</p>	<p><b>【西野水道(ずいどう)の探検】(長浜市)</b> 江戸時代、たびたび洪水に見舞われていた西野地区を、洪水から守るために、恵莊上人によって掘削された排水用の岩穴。高さ約2m、幅約1.5m、総延長220m。実に6年の歳月をかけてノミだけで掘り抜かれた手掘りの岩穴は、水害に悩まされた当時の苦悩の歴史と琵琶湖とのつながりを実感できる。</p>	<p><b>【賤ヶ岳絶景ポイント】(長浜市)</b> ビワイチ随一ともいえる賤ヶ岳から見渡す琵琶湖北湖の絶景スポット。峠の坂道を仲間(親子)で支えあいながら登りきり、賤ヶ岳トンネルを抜けた先には、絶景が待ち受ける。 竹生島(水の神を祀る島)を眺めることができ、琵琶湖の雄大さに心を奪われる。</p>
【 ポイント4 】	【 ポイント5 】	【 ポイント6 】
		
<p><b>【海津・西浜・知内の水辺景観】(高島市)</b> * 日本遺産 この地域は、琵琶湖北部の主要な港町・宿場町そして漁村として栄えた場所で、町家はいずれも江戸時代末期の建築。 平成20年に全国で5番目の重要文化的景観に認定された。 湖岸の石積や共同井戸、漁港や砂浜周辺など、「水」と共に生きる暮らしが今でも息づいている。</p>	<p><b>【針江・霜降の水辺景観】(高島市)</b> * 日本遺産 地下湧水が集落の各所に自噴し、この水を利用するための「カバタ」があり、現在も暮らしで利用されている。 この湧水を「生まれる水」と書いて「生水(しょうず)」と呼び、川の周囲に生きる人たちは、水を巧みに利用し、今なお継承している。 日本の原風景ともいべき景観が残されており、静かな郷に生きた水がめぐる貴重な景観がここにある。</p>	<p><b>【白髭神社の朝日】(高島市)* 日本遺産</b> 琵琶湖に浮かぶ大鳥居が有名な、近江最古の大社。湖中に建つ大鳥居は、その姿から「近江の敵島」と呼ばれ、琵琶湖の航海を司っている。白髭の社名が示す通り、延命長寿の神様が祀られており、参拝者も多い滋賀の絶景パワースポット。大鳥居は、時間帯によって様々な表情を見せる。 朝日を眺めたのち、ビワイチの旅の再スタート。</p>

【 主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来、土産品など） 】

【 ポイント7 】



【浮御堂】(大津市)

平安時代に建立された琵琶湖に浮かぶ仏堂。約 1,000 年もの間、琵琶湖の湖上安全を守ってきた。室町時代に選定された近江八景の一つ「堅田の落雁」としての名高く、江戸時代には、松尾芭蕉をはじめ多くの俳人に愛された。

【 ポイント8 】



【比叡山延暦寺】(大津市)\* 日本遺産

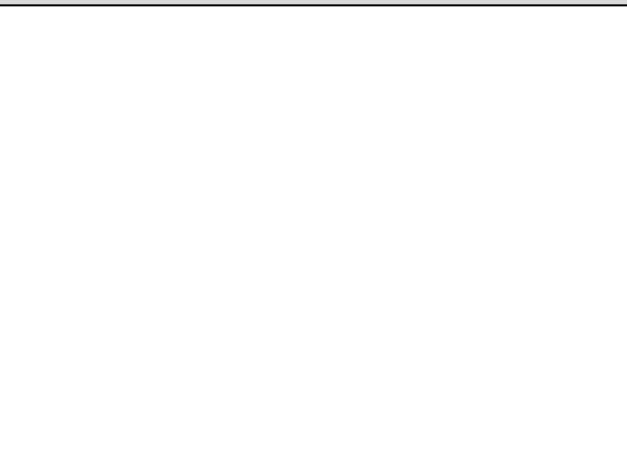
琵琶湖をこの世の楽園と讃えて「天台薬師の池」に見立て建立された天台宗の本山寺院。数々の堂塔が並ぶ様子は圧巻。ユネスコの世界文化遺産にも登録されており、眼下には瑠璃色に輝く広大な琵琶湖を望むことができる。

【 ポイント9 】

【瀬田の唐橋】(大津市)

東海道・中山道方面から京へ向かうには、琵琶湖から流れ出る瀬田川を渡る必要があり、古来より「唐橋を制する者は、天下を制す」と言われた。全長 260m で、日本三大大橋の一つとされてきた。日本の道 100 選にも選ばれている。

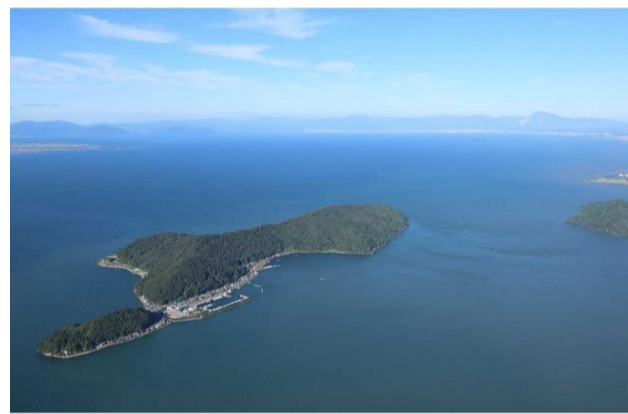
【 ポイント10 】



【滋賀県立琵琶湖博物館】(草津市)

滋賀県・琵琶湖とその周辺の自然や生き物、生態系、人々の暮らしや歴史を、大人も子どもも楽しく学べる博物館。トンネル水槽、ふれあい水槽などの水族展示室がオススメ。展示室では、ゾウも住んでいた大昔の琵琶湖とその成り立ちや、琵琶湖と人との歴史、自然と今の私たちの暮らしを学ぶことができる。

【 ポイント11 】



【沖島】(近江八幡市)\* 日本遺産

日本唯一、湖に浮かぶ有人島で、300 人ほどの人たちが暮らしている。かつて湖上交通を祈願した神の島として崇められた。島から眺める長命寺山や鈴鹿山系、比良山系の美しさは、琵琶湖に浮かぶ島ならではのもの。多様な漁法や独自の食文化など、琵琶湖の恵みに支えられた島の暮らしは、どこか懐かしい空気が漂っている。

【 ポイント12 】



【琵琶湖の食文化】

沖島周辺では、琵琶湖固有種を中心とした食文化が今も受け継がれている。琵琶湖八珍(コアユ、ビワマス、ハス、イサザ、ウロリ、ニゴロブナ、スジエビ、ホンモロコ)のほか、寿司のルーツである珍味・鮒ずし、コアユ天ぷら、エビ豆など、琵琶湖特有の食文化を楽しむことができる。伝統漁法には、オイサデ漁、ヤナ漁、エリ漁などがある。

【 ポイント13 】



【伊庭の水辺景観】(東近江市)\* 日本遺産

湖東平野に残る水郷集落の一つで、かつて伊庭川が集落の中心を流れ、そこから張り巡らされた水路を通じて人々が行き交い、内湖周辺地域の拠点集落として活況した。5月の祭りで行われる「坂下し」は、山から神様を神輿に乗せ、湖に迎える勇壮な神事。

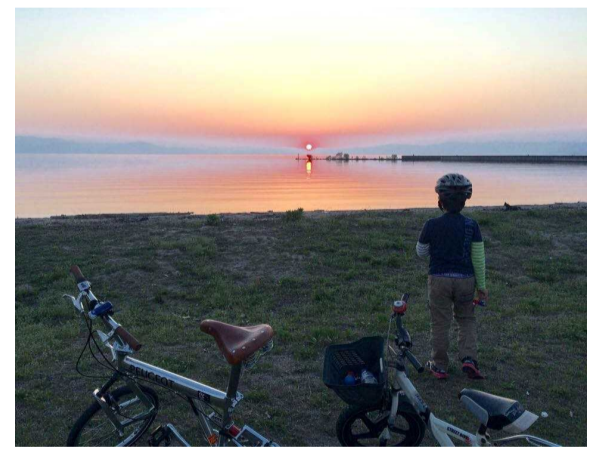
【 ポイント14 】



【彦根城、玄宮園楽々園】(彦根市)\* 日本遺産

旅の最終ポイントは、世界遺産の登録を目指す国宝・彦根城と城下町。お城の周囲には、琵琶湖の景観を模して造ったとされている玄宮楽々園やお浜御殿などの代表庭園がある。彦根の城下町で、近江牛の焼き肉やすき焼きを食べて、旅の最後を締めくくるのもいい。

【 ポイント15 】



琵琶湖岸の夕陽(米原市)

クライマックスは、琵琶湖の夕日。湖岸の夕陽は、日本の夕日百選に選ばれている。夕陽を眺めながら、琵琶湖の大切さや、旅の思い出に浸り、入江干拓を通りながら終着駅へ。米原市の磯崎神社には、結びの岩と言われる烏帽子岩があり、男女の恋が成就する言い伝えもある。